

Peach が地元・関西復興に全力投球 「Osaka も Kansai も負けへんで！」 訪日旅客誘致企画を展開

～今後も、Peach が関西空港から日本のインバウンド需要を牽引～

- ・ 10月5日(金)より関西の“今”の様子をSNSで伝えるキャンペーンを実施
- ・ 10月10日(水)より韓国、香港、台湾の訪日旅客向けの関西誘客促進セールを実施

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一)は、このたび、台風21号の被害にあった関西空港を利用するインバウンド需要を再び喚起させるため、観光庁・日本政府観光局(JNTO)が主導する「関西インバウンド観光リバイバルプラン」に連動した取り組みを10月5日(金)より実施いたします。



この取り組みは、Peach が就航している韓国、香港、台湾の訪日旅客を対象に、台風21号の影響を受けた関西エリアに安心して来ていただくために、SNS を活用したキャンペーンの実施や航空券のセール展開、ならびに旅行系メディアやブロガーを活用し、関西への旅行需要の喚起を図るものです。

関西空港が本拠地の Peach ならではの取り組みの一つ「Osaka も Kansai も負けへんで！写真投稿キャンペーン」では、関西在住の方々と関西を訪れる韓国、香港、台湾のお客様から、関西の現在の様子を撮影した写真を募り、関西の元気な姿を広く PR するものです。投稿者には抽選でピーチポイントを進呈いたします。

これらの取り組みを通じて、さらなる関西への訪日旅客誘致を目指すとともに、関西空港の利用促進を目指します。取り組みの詳細は次項をご覧ください。

今回の取り組みについて、代表取締役 CEO の井上慎一は、「関西へのインバウンド旅客の賑わいを取り戻すことは、関西空港に本拠地をかまえる Peach の使命だと考えております。また、関西空港を玄関口とする関西エリアは、すでにアジアのお客様をお迎えする準備が整っています。関西の航空会社として、地元のみならずとも、関西の底力を世界に発信してまいります」とコメントしています。

今後も Peach は、関西空港を本拠地として、航空業界の枠にとらわれない取り組みを展開し、関西エリアへのインバウンド需要の拡大と関西経済の発展に取り組んでまいります。

<実施内容>

① **【SNSを活用し、関西の活気をロコミで発信】**

企画名： 「OsakaもKansaiも負けへんで！写真投稿キャンペーン」
URL： <https://www.flypeach.com/campaign/peachlovesosaka> (10月1日公開予定)
対象： 韓国、台湾、香港からの訪日旅客
内容： Peachの公式SNS (Facebook/Instagram)を活用し、9月21日(金)以降の関西の街の様子を撮影した写真を地元の方々と訪日旅客から募り、復興している関西の“今”を双方の投稿者視点で共有することを通じて、関西旅行への不安払拭を図る。
実施期間： 2018年10月5日(金)～10月31日(水)

② **【訪日旅客を対象とした航空券の特別セールを実施】**

セール名： 「OsakaもKansaiも負けへんで！セール」
対象： 韓国、台湾、香港からの訪日旅客
内容： 関西空港発着便を含む路線でのセール販売を開始
実施期間： 2018年10月上旬予定。詳細は決定次第、公式ウェブサイトにて発表

そのほか、韓国ではブロガーによる情報発信やSNSを活用したキャンペーンを実施するほか、香港では若者向けアプリ「Spotify」を用いた関西への旅行喚起及び旅行メディアを通じた情報発信、台湾でも現地発信の企画を検討するなど、インバウンド需要の拡大に向けた取り組みを順次開始してまいります。

詳しくは、Peachの公式ウェブサイト(flypeach.com)をご覧ください。

Peachについて(www.flypeach.com)

Peachは、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。2014年7月には那覇空港、2017年9月には仙台空港を関西空港に次ぐ拠点空港としました。現在、21機の機材で、国内線16路線、国際線15路線に就航し1日あたり最大約100便以上を運航するとともに、13,000人以上のお客様にご利用いただいております。